記載例

『対象物名称』工事中の消防計画

※本計画に定めるもの以外のものについては、規定の消防計画による

令和○○年○○月○○日作成

|  |
| --- |
| １　工事計画及び施工に関すること |
| 　１　工事概要　※建物工事の概要を記載願います。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（消防用設備の工事を行う場合は併せて記載願います。）

|  |  |
| --- | --- |
| ２　工事日程表 | 　別記による　（工事日程。日常の工事時間及び、休日・夜間の工事時間。） |
| ３　工事範囲 | 　別図による　（工事部分を明確にした図面（平面及び立面図等） |
| ４　機能に支障を生じる消防用設備等該当する場合○で囲む。別紙番号記入 | 有　・　無 | 別紙１ |
| ５　機能に支障を生じる避難施設等 | 有　・　無 | 別紙２ |
| ６　火気を使用する設備器具（以下、「火気使用設備器具」という。）等の使用等 | 有　・　無 | 別紙３ |
| ７　危険物等を取り扱う作業等 | 有　・　無 | 別紙４ |
| ８　連絡先 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　工事施工者及び工事現場事務所の連絡先を記入　　　　　　　　　　　 |
| ９　緊急連絡先 | 　８以外の緊急連絡先を記入　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 10　その他 | 　下請け業者等、その他必要な事項を記入　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　例）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　内装　○○美装　　　責任者名　　連絡先　　　　　　　　　　　　　　空調設備　○○工業　　責任者名　　連絡先　　　　　　　　　　　　　消防用設備　○○防災　　責任者　　連絡先　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

 |

|  |
| --- |
| ２　工事中の防火管理体制に関すること |
| 　１　出火防止対策（１）　日常の火災予防ア　　防火（防災）担当責任者又は火元責任者　　を別表１「日常の火災予防組織」のとおり指定し、それぞれの任務に従って日常の火災予防を行う。イ　　火元責任者又は工事施工責任者　　は、別表２「日常の自主検査チェック表」を用いて、担当区域の日常の火災予防について毎日自主検査を実施する。ウ　　火元責任者又は工事施工責任者　　は、自主検査の結果、異常が認められたときは、　　防火（防災）管理者　　に報告し、指示を受けて対処する。エ　その他日常の火災予防を実施する上で必要な事項があれば記入。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　例）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（ア）（アに指定されている者）は、別表２の自主検査の結果を毎月○回防火管理者へ報告し捺　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印を受ける。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（イ）工事施工責任者は、作業の開始前又は作業終了時にその日又は翌日の作業内容について防　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　火管理者へ報告する。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（ウ）防火管理者は、作業員が火気を使用する場合には、周囲の点検を行い、必要な支持を与え　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　る。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（２）放火防止対策ア　建物の外周部及び階段等には、可燃性の工事用資材又は梱包材等は置かないようにする。やむを得ず置く場合は整理整頓し難燃性シート等で覆い保管する。イ　　防火（防災）管理者・工事施工責任者　　は、作業終了後に施錠を最終的に確認する。ウ　工事関係者以外の者の工事部分等への立ち入りは禁止とし、　火元責任者・工事施工責任者　が、工事部分等への出入りをチェックする。　エ　その他　　　　放火防止対策をする場合に、必要な事項があれば記入　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　例）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　工事部分等の巡回を行う。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

|  |
| --- |
| （３）喫煙管理ア　喫煙をする場合は、　喫煙場所の指定　（禁止の場合は取消線にて削除願います。イも同様）　の喫煙場所で行う。　　なお、喫煙場所には、その旨を掲示するイ　　火元責任者　等　は、毎日作業終了後に吸殻を集め、指定された不燃性容器に入れて処理を行う。ウ　その他　　　　その他必要な事項を記入する。　例）施設内外禁煙　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　喫煙場所付近には可燃物を置かない。　　　（４）延焼拡大防止ア　　防火戸、防火シャッター　の周囲には、延焼媒体となる可燃物や開閉障害となる物品を放置しない。イ　工事中は、作業のため必要がある場合を除き、　防火戸、防火シャッター　は努めて閉鎖する。ウ　防火戸、防火シャッターは、作業終了後努めて閉鎖する。　エ　その他　　　　その他必要な事項を記入する。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２　相互連絡体制（１）　防火（防災）管理者　は、火災予防上必要な事項について、必要に応じて、工事責任者等に指導、監督を行う。（２）　防火（防災）管理者　は、工事関係者等と工事の開始前に十分協議を行う。（３）工事責任者は、工事の開始・終了の報告、溶接・溶断作業の事前報告、危険物品の持込み・使用の事前報告を　防火（防災）管理者　に行う。（４）工事部分内又は使用している部分から火災が発生した場合は、相互連絡体制を図る。（５）その他　その他必要な事項を記入する。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　例）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　防火（防災）管理者と工事責任者は、定期的に工事の進捗状況と防火管理対策について、連絡調整・確認を行う。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

|  |
| --- |
| ３　地震対策（１）日常の地震対策ア　地震対策を実施する責任者は、　防火（防災）管理者、工事施工責任者　とする。イ　建築物の倒壊、施設物の転倒、落下防止及び火気使用設備器具からの出火防止を重点とし、次の事項について予防措置を実施する。(ア)　工事用資器材等の転倒防止措置(イ)　工事用足場、資材等の落下、飛散防止措置(ウ)　その他　工事現場の実態に応じた措置を実施する場合に記入する　　　　　　　　　　　　　　　　例）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　建築物等の安全確保のための点検、補強を　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　危険物品は、転倒、飛散防止措置　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ウ　その他　　　　その他必要な事項を記入する。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（２）地震後の安全措置ア　地震発生直後は、身の安全を守ることを第一とする。イ　工事関係者は、揺れがおさまったら、直近の火気使用設備器具の元栓、器具栓の閉止又は電源遮断を行い、　火元責任者、工事施工責任者　はその状況を確認する。ウ　各設備器具等は、安全を確認した後に使用する。エ　　火元責任者、工事施工責任者　は、地震動終了後、工事部分等を点検、確認し、被害状況を　防火（防災）管理者　に報告する。　オ　その他　　　　　　その他必要な事項を記入する。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　例）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　被害があった場合は、応急措置を行い状況によっては工事を中止する。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| ４　自衛消防について組織の編成例）　既定の消防計画に定める組織記載通報連絡班初期消火班現場監督又は工事施工責任者避難誘導班救　護　班※災害時は、防火対象物本隊（既定の消防計画に定めれている隊）と連携し活動することを目的とする。　　１　この隊の編成表は、　　現場事務所、工事人休憩室　　の見やすいところに掲示する。　　２　各班及び班員の指定は、工事現場の規模、工事人の数に応じて、具体的に任務分担し、自衛消防隊活動の内容を周知させる。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ５　消防機関との連絡（１）届出事項

|  |  |
| --- | --- |
| 種　　　別 | 届出等の時期 |
| 工事中の消防計画作成（変更）届出 | 工事中の消防計画を変更したとき |
| 訓練実施の届出 | 訓練を計画又は計画したとき |
| 消防活動上支障ある行為の届出 | 工事に伴い火災と紛らわしい煙又は火炎を発する行為等をするとき。 |

（２）連絡事項

|  |  |
| --- | --- |
| 消防用設備等の代替措置等 | 工事施工上止むを得ず機能を停止する場合は、事前に消防署と協議し、火災予防上安全な措置を図る。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

６　避難経路（１）工事部分等における避難経路図を作成し、　主要箇所　に掲示する。（２）避難経路には、資材等の物品が置かれないよう確保する。（３）その他　その他必要な事項を記入する。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　例）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２方向避難を確保する　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　消防用設備（誘導灯）に支障がある場合は、避難経路図の掲示の他、施設利用者への説明を併せて実施する。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　７　防火区画（１）防火区画については、別図のとおり。（２）　工事施工責任者　は、防火区画に異常がないかどうかを自主検査チェック表に基づき確認し、破損等を発見した場合は、直ちに改修する。（３）その他　その他必要な事項を記入する。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

|  |
| --- |
| ３　工事期間中の工事人への教育・訓練の実施及び工事中の消防計画の周知に関すること |
| １　防火・防災教育（１）防火教育の実施　防火（防災）管理者、工事施工責任者　より、全員を対象として　作業開始前に毎日、月○回　行うこととし、その他、必要の都度実施とする。（２）防火教育の内容

|  |  |
| --- | --- |
| 対象者 | 実施内容 |
| 全員 | １　工事中の消防計画について |
| ２　遵守事項の徹底について |
| 　⑴　火気管理、喫煙管理 |
| 　⑵　避難施設等の維持管理 |
| 　⑶　危険物品等の管理 |
| ３　災害発生時の対応要領について |
|  |
| 工事施工責任者 | １　工事中の消防計画について |
| ２　各自の任務分担と責任範囲について |
| ３　日常の火災予防の徹底について |
| ４　自主検査チェック表による自主検査の徹底について |
| ５　災害発生時における工事部分と使用している部分の連絡体制の徹底について |
|  |

（３）その他　その他必要な事項を記入する。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　例）　臨時的に就業する作業員等に対しては、工事責任者が個別に防火教育を実施し徹底を図る。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ２　訓練（１）訓練種別及び実施時期等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 訓練種別 | 実施時期又は実施回数 | 参加者 | 訓練内容 |
| 消火訓練 |  |  | 消火器の取扱い |
| 通報訓練 |  |  | 119番通報・館内連絡要領 |
| 避難訓練 |  |  | 工事部分の避難経路の確認避難誘導要領 |
| 総合訓練 |  |  | 工事部分と使用部分の連携活動 |

（２）その他　　その他必要な事項を記入する。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　３　工事中の消防計画の周知に関すること（１）防火管理者は、前記の防火・防災教育及び訓練を通して、全従業員、工事人に対して、工事中の消防計画を周知徹底する。（２）その他　その他必要な事項を記入する。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

別紙１

機能に支障を生じる消防用設備等の代替措置に関すること

|  |
| --- |
| １　消防用設備等 |
| 種類・区域 | 支障を生じる期間 | 代替措置の概要 |
| 支障が生じる消防用設備について記載願います。 |  |  |
| 　２　管理の方法等 | ・機能を停止する場合は、消防機関と協議する。・機能を停止する消防用設備等の種類、停止時間及び停止部分は、必要最小限とする。・機能を停止する場合は、火元責任者又は工事責任者による巡回の回数を増やす等、監視体制を強化する。（毎日○時間ごとに巡回を実施する）・工事施工責任者は、工事内容（機能が停止する設備等）について、防火管理者へ説明を行う。・工事終了後は、工事施工責任者が点検を行うものとする。その他必要な事項を記入する。 |

別紙２

機能に支障を生じる避難施設等の代替措置に関すること

|  |
| --- |
| １　避難施設及び進入口等 |
| 種類・区域 | 支障を生じる期間 | 代替措置の概要 |
| 支障が生じる設備について記載願います。 |  |  |
| 　２　管理の方法等 | ・避難誘導担当者、工事人及び施設利用者に対し、避難経路について周知徹底する。・できる限り２方向避難を確保する。・工事施工責任者は、階段、通路等及び出入口付近に障害となる資材等が置かれていないかを、随時確認する。・作業時間帯の非常口は、随時解放できるようにする。その他必要な事項を記入する。 |

別紙３

火災発生危険等に対する対策に関すること

|  |
| --- |
| １　火気使用設備器具の状況及び火災の発生のおそれのある機械器具等 |
| 種類・数量 | 使用場所 | 使用期間・時間 | 設置方法 |
| 火災発生の恐れがある機器使用について記載願います。例）溶接機溶断機火花が生じる機器　等 |  |  |  |
| 　２　管理の方法等 | ・火花が飛散する範囲内の可燃物を除去又は不燃性シート等による遮へいをしてから行う。・溶接、溶断作業等を行う場合は、近くに消火器を配置する。・危険物及び可燃物の周辺では、火気を使用しない。その他必要な事項を記入する。 |

別紙４

危険物品等の管理に関すること

|  |
| --- |
| １　危険物品等 |
| 種類・数量 | 使用場所 | 使用期間・時間 | 堆積・設置方法等 |
| 危険物について記載シンナー塗料　　　等 |  |  |  |
| 　大量の可燃物を搬入し保管する場合に記載 |  |  |  |
| 　２　管理の方法等 | ・危険物品を常時保管しない。保管する場合は、施錠するなど管理を徹底する。・塗料等の危険物を使用するときは、付近に火気及び火花を発するもの等がないことを確認してから使用する。・常に整理整頓する。・危険物使用中は、換気を行いながら作業を行う。・危険物等を貯蔵又は取扱う場合は、事前に防火管理者、工事施工責任者へ報告し承認をえる。その他必要な事項を記入する。 |

別表１

日常の火災予防組織

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 防火担当責任者 | 業務 | 火元責任者 | 業務 |
| ２ページ目に定める、日常の火災予防について記入 |  |  |  |

別表２

日常の自主検査チェック表

○○月

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日 | 曜日 | 検査項目 | 備考○不備欠陥事項記入○改修状況記入○その他 |
| 終業時の火気の確認 | 終業時の施錠確認 | 終業時の吸殻処理 | 消防用設備等の維持管理 | 防火戸の閉鎖障害 | 避難経路の確保状況 | 危険物等の保管管理状況 | その他 |
| 設備名 | 設備名 | 設備名 | 設備名 |
| 1 | 月 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |  |  |
| 2 | 火 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |  | ○ | ○ |  | 資材放置直ちに撤去 |
| 3 | 水 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |  |  |
| 4 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 5 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 6 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 7 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 8 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 9 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 10 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 11 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 12 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 13 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 14 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 15 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 16 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 17 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 18 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 19 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 20 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 21 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 22 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 23 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 24 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 25 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 26 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 27 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 28 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 29 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 30 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 31 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （凡例）　○…良　　　　　×…不備　　　　　…即時改修 | 確認印 | 工事責任者 |
|  |

別図

工事部分等の平面図

工事個所が確認出来る、平面図等を添付願います。